

シリーズ カラーアトラス

1. 皮膚疾患

他科領域に関連した医原性皮膚障害 (I)

青木見佳子

日本医科大学皮膚科学教室

1. Dermatologic Disorders

Latrogenic Skin Diseases (I)

Mikako Aoki

Department of Dermatology, Nippon Medical School

BCG 接種後に生じた皮膚結核性肉芽腫 (図 1, 2, 3)

BCG ワクチンは牛型結核菌の弱毒生菌で、本邦で使用されている BCG 株 (東京, No.172) は毒力も弱く、特に副反応が少ないと言われている。副反応の多くは経過観察のみで軽快する所属リンパ節腫脹であるが、まれに尋常性狼瘡、結核性肉芽腫を発生する。肉芽腫の多くは接種部位と同側上腕で接種部位と直接連続性のない皮下に、接種後 2 カ月以内に発生する。組織学的にも結核肉芽腫 (図 3, 症例図 1 の組織像) を呈し、施行症例の約半数で PCR または小川培地を用いた組織培養で *M. bovis*, BCG 株が証明される。

術後臀部皮膚障害 (いわゆる脊麻後紅斑) (図 4, 5)

術後 1~2 日以内に臀部を中心に発生する特異な形状の疼痛性紅斑は脊麻後紅斑と呼称されていたが、全身麻酔、硬膜外麻酔手術でも発生するため、現在では術後臀部皮膚障害と報告されることが多い。報告上、発生率は全手術室手術の 0.1~0.3% 程度で、短時間手術や術後すぐに体動可能な患者でも発生する。皮疹は類円形、星型、蝶形などの浸潤性紅斑で、一部に刷毛ではいたような細い複数の線状皮疹を混じる特徴がある。疼痛は比較的高度で潰瘍へと進行した症例では治癒に 2 カ月以上を要することも稀ではない。発症機序としては、電気メスでは体内から対極板以外に電流は流れないとされているが、実際には漏れ電流が存在し、消毒液、洗浄用の生理食塩水、汗などがたまりやすく、湿潤した部位から手術台を経由して電気メス本体に還流するため、臀部に電撃症としての障害を生じるとする説が有力である。



図 1

6 カ月男児 . 3 月に BCG 接種を受け 5 月に接種部位よりやや内側に硬結を伴う紅斑が出現した . 受診時 , ツベルクリン反応は中等度陽性 .



図 2

7 カ月男児 . 3 月に BCG 接種を受け 6 月より接種部位よりやや内側に皮下硬結が出現した .

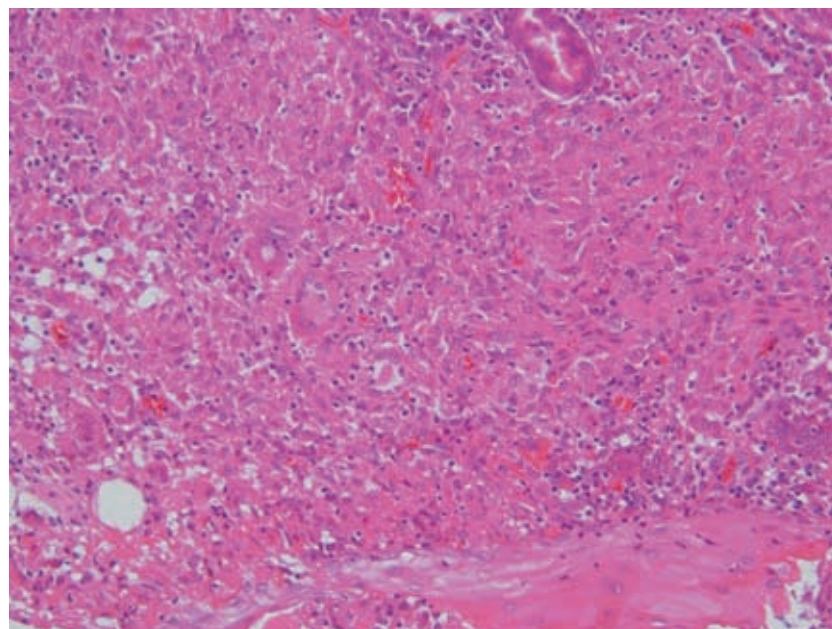


図 3

図 1 症例の病理組織所見 .



図 4

21 歳男．膝前十字靭帯損傷に対し，全身麻酔，硬膜外麻酔で鏡視下膝前十字靭帯再建術．術後 1 日目に臀部の有痛性紅斑に気付く．



図 5

32 歳女．全身麻酔，硬膜外麻酔，碎石位で卵管水腫手術．術後 4 日目に仙骨部の紅斑に気付く．